

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL https://www.muro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,965	△11.4	997	△20.6	1,589	13.9	974	15.1
2020年3月期	21,401	5.1	1,256	△38.1	1,395	△42.0	846	△51.4

(注) 包括利益 2021年3月期 1,316百万円(106.8%) 2020年3月期 636百万円(△57.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	161.31	—	5.6	6.3	5.3
2020年3月期	139.78	—	5.1	5.9	5.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	26,753	17,795	66.5	2,945.29
2020年3月期	23,784	16,745	70.4	2,771.47

(参考) 自己資本 2021年3月期 17,795百万円 2020年3月期 16,745百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,780	△1,744	1,289	7,038
2020年3月期	1,605	△862	△975	4,741

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	265	31.5	1.6
2021年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	265	27.3	1.5
2022年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00		26.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,952	23.4	598	—	582	523.3	364	—	60.35
通期	20,402	7.6	1,249	25.2	1,448	△8.8	1,005	3.2	166.40

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期	6,546,200株	2020年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期	504,062株	2020年3月期	504,034株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,042,155株	2020年3月期	6,058,690株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,461	△7.3	1,032	11.2	1,575	32.8	998	21.3
2020年3月期	16,683	△3.2	928	△37.8	1,185	△41.0	823	△44.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	165.33		—					
2020年3月期	135.97		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	24,559		16,803		68.4		2,781.09	
2020年3月期	21,460		15,856		73.9		2,624.26	

(参考) 自己資本 2021年3月期 16,803百万円 2020年3月期 15,856百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

2. 2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	7,884	22.6	615	384.0	428	—	70.91	
通期	16,056	3.9	1,347	△14.5	970	△2.9	160.55	

業績予想に関する注記

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスが猛威を振り、抑え込みに成功した中国や他のわずかな国を除いて大きく落ち込みました。年度初めはこの新たな脅威との向き合い方を模索する過程で厳しい行動制限が行われ、経済活動が大きく停滞しました。年度中頃になると経済を回しながら対応する方向に軌道修正され、経済も回復していきました。年末からは早い国ではワクチン接種が進み、回復期待が一気に高まりました。いまやワクチンがこの災厄からの出口としての希望となっており、実際にワクチン接種が進んでいる国では感染状況が改善し、コロナ前の生活が戻ろうとしています。しかしながら、ワクチン接種の進み具合により国内状況の明暗が分かれる中、インドでは変異株が凄まじい猛威を振り新たな脅威となっており、変異株へのワクチンの有効性も含めまだまだ先の見えない状況にあるように思われます。

一方日本におきましては、2020年4月に1回目の緊急事態宣言を発令して感染を抑え込むことに成功しましたが、その後はGoToキャンペーン等の感染防止とは相反する政策を推進しました。このちぐはぐな対応の結果12月には感染が急拡大して2回目の緊急事態宣言を発令、ここでも何とか抑え込みましたが、2021年4月の第4波の波は大きく、3回目となる緊急事態宣言が発令されました。第4波では、変異株の感染が進んでいること、人流抑制が従前ほど徹底されなくなっていることなどが拡大の要因として挙げられていますが、頼みの綱のワクチン接種も進まない中、オリンピック・パラリンピックという大きなイベントの開催が近づいており、発生から1年以上を経て今まさに危機的な状況にあるように思われます。

当社グループの主要事業領域であります自動車産業界は、年度初めの第1四半期においては厳しい行動制限に伴い完成車メーカーをはじめ多くの工場が操業を停止し、生産は激減しました。第2四半期から生産は徐々に回復し、第3四半期には前年を超える増産となりました。第4四半期は、この増産と自然災害や火災に伴う半導体や樹脂材料の工場停止が重なり、各社の生産に影響を及ぼして弱含みとなりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、上半期の落ち込みが響き18,965百万円（前連結会計年度比11.4%減）となりました。営業利益につきましては、上半期の生産減に伴う経費が重くのしかかり997百万円（前連結会計年度比20.6%減）となりました。経常利益につきましては、一時帰休に伴う助成金の計上もあり1,589百万円（前連結会計年度比13.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、過年度分利益課税で税金負担が膨らみましたが974百万円（前連結会計年度比15.1%増）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 金属関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、16,701百万円（前年同期比10.1%減）となりました。上半期は大きく落ち込みましたが、第3四半期連結会計期間においては挽回分も含んで大きく生産が回復し、この期間の国内では前年同期の売上を上回りました。第4四半期連結会計期間においては、半導体や樹脂材料不足の影響もあり、弱含みしました。年間では、国内・海外共に上半期の新型コロナウイルス感染拡大に伴う客先の操業停止等による影響が大きく、減少しました。

② 樹脂関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、1,444百万円（前年同期比23.5%減）となりました。金属関連部品事業同様上半期は大きく落ち込み、第3四半期連結会計期間において大きく回復、第4四半期連結会計期間において弱含みしました。年間では、国内・海外共に新型コロナウイルス感染拡大に伴う客先の操業停止等による影響が大きく、減少しました。

③ その他

当連結会計年度の当事業の売上高は、819百万円（前年同期比13.1%減）となりました。海外は各国のロックダウン措置の影響などにより欧州と米国、カナダ、韓国で減少しました。国内は太陽光発電向け締結部材の新規貢献がありました。期初からの緊急事態宣言による移動制限と経済停滞等により減少しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ2,968百万円増加し、26,753百万円となりました。主な増加は現金及び預金2,231百万円、有形固定資産548百万円、流動資産のその他219百万円、投資その他の資産のその他208百万円であり、主な減少は繰延税金資産248百万円、有価証券312百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,918百万円増加し、8,957百万円となりました。主な増加は短期借入金1,814百万円、電子記録債務の増加268百万円、未払金228百万円、未払法人税等205百万円であり、主な減少は1年内償還予定の社債100百万円、1年内返済予定の長期借入金149百万円、退職給付に係る負債266百万円であります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,050百万円増加し、17,795百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する当期純利益974百万円、その他有価証券評価差額金214百万円、退職給付に係る調整累計額281百万円であり、主な減少は剰余金の配当金265百万円、為替換算調整勘定154百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度は70.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増加額、定期預金の払戻による収入、有価証券の償還による収入や短期借入金の純増額があったものの、退職給付に係る負債の減少額、法人税等の支払額、定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出、長期借入金の返済による支出や配当金の支払額などがあり、当期連結会計年度末には7,038百万円（前連結会計年度末比48.4%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,780百万円（前年同期比73.1%増）となりました。これは法人税等の支払額374百万円、退職給付に係る負債の減少266百万円、売上債権の増加200百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前当期純利益1,586百万円、減価償却費1,266百万円、仕入債務の増加347百万円、未払金の増加額220百万円などの資金の流入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,744百万円（前年同期比102.3%増）となりました。これは定期預金の払戻による収入462百万円、有価証券の償還による収入523百万円などの資金の流入があったものの、定期預金の預入による支出425百万円、有形固定資産の取得による支出2,060百万円、無形固定資産の取得による支出140百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は1,289百万円（前年同期は975百万円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出236百万円、短期社債の償還による支出110百万円、配当金の支払額265百万円などの資金の流出があったものの、短期借入金の純増額1,814百万円、長期借入れによる収入160百万円などの資金の流入があったことによります。

(4) 今後の見通し

(次期の見通し)

ワクチン接種が始まり希望も持てるようになってきましたが、ワクチンが行き渡らない段階での変異株の拡散等もあり、まだまだ新型コロナウイルスとの戦いは続くものと思われ、依然として先行きは不透明です。加えて半導体や樹脂材料の供給不安等もあり、今後の状況を見通すことは難しい状況ではありますが、現時点での事業環境に大きな変動が無いことを前提とした業績予想としましては、売上高は収益認識の変更もあり20,402百万円、経常利益は1,448百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,005百万円を見込んでおります。

なお、為替レートは、1 USドル108円を想定しております。

また、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用するため、業績予想は当該基準に基づいたものとなっております。主な影響の内容は、金属関連部品事業における有償受給取引に該当する売上高の計上を総額から純額に変更することによります。当該基準の適用により、売上高が824百万円減少することを見込んでおりますが、変更による利益に対する影響はありません。なお、「収益認識に関する会計基準」の適用による他の影響については現在調査中であります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益分配につきましては、長期安定的配当の維持を基本方針とし、業績や経営環境等を総合的に勘案しながら株主の皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えております。

以上のような方針に基づき、今期の期末配当金につきましては、1株につき普通配当として22円を配当し、既の実施しました中間配当22円と合わせて年間で44円の配当といたします。

次期配当金につきましては、中間配当として1株につき22円、期末配当として1株につき22円の合計44円の普通配当を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は当社、子会社9社及び関連会社1社により構成されており、金属関連部品、樹脂関連部品、その他の各事業で製品の製造・販売を主たる業務としております。

当社グループのセグメントの概要は下記のとおりです。

1. 金属関連部品事業

部品加工……………主要な製品は駆動伝達・操縦装置部品、エンジン部品、コンプレッサー部品等であります。これら製品は当社及び海外子会社ムロテック オハイオコーポレーション、海外子会社ムロテック ベトナム コーポレーション、海外子会社ピーティー ムロテック インドネシア、海外子会社睦諾自動車部品(湖北)有限公司が製造・販売、国内子会社北関東プレーティング株式会社がメッキ加工等の製造、海外関連会社3MT(THAILAND)CO.,LTD.が販売をしております。

業務請負……………国内子会社エム・シー・アイ株式会社が、当社の製造工程の一部と製造間接部門の一部の業務を請け負っております。

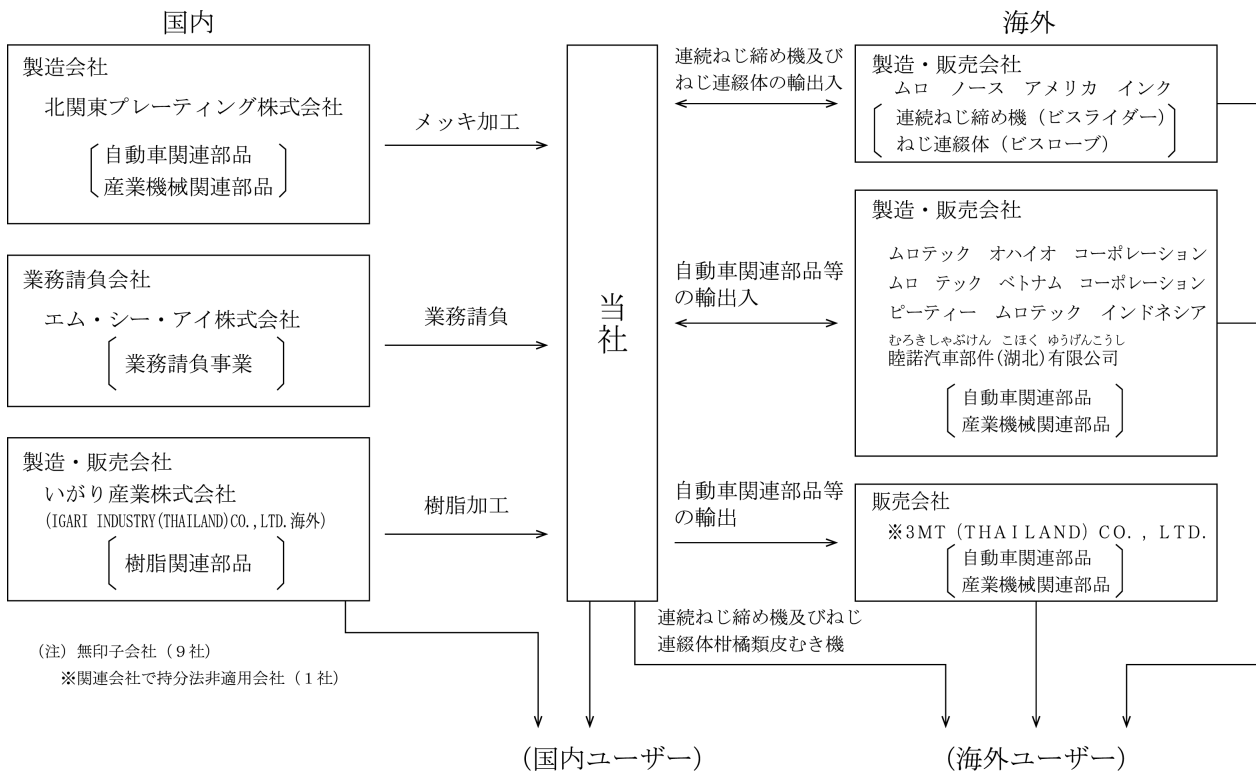
2. 樹脂関連部品事業

部品加工……………主要な製品は自動車及びカメラ向け樹脂成形部品、医療機器関連成形部品、OA機器向けギア部品、ビニール製品の加工等であります。国内子会社がいがり産業株式会社、海外子会社IGARI INDUSTRY(THAILAND)CO.,LTD.が製造・販売をしております。

3. その他

連続ねじ締め機及びねじ連綴体……当社及び海外子会社ムロ ノース アメリカ インクが製造・販売をしております。

柑橘類皮むき機……………当社が製造・販売をしております。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,614,137	7,845,484
受取手形及び売掛金	2,850,223	2,930,769
電子記録債権	1,622,411	1,715,077
有価証券	542,621	230,476
商品及び製品	716,243	660,025
仕掛品	401,250	394,039
原材料及び貯蔵品	365,860	355,607
その他	259,291	478,801
流動資産合計	12,372,039	14,610,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,976,531	7,933,725
減価償却累計額	△4,241,372	△4,378,838
建物及び構築物(純額)	2,735,158	3,554,887
機械装置及び運搬具	13,762,013	13,571,864
減価償却累計額	△10,920,519	△11,096,615
機械装置及び運搬具(純額)	2,841,493	2,475,248
土地	1,490,537	1,466,512
建設仮勘定	372,670	458,382
その他	5,882,903	6,079,912
減価償却累計額	△5,424,832	△5,588,297
その他(純額)	458,070	491,614
有形固定資産合計	7,897,930	8,446,645
のれん	100,418	75,314
その他	181,575	269,977
無形固定資産	281,994	345,291
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004,229	2,098,448
長期貸付金	499	64,007
繰延税金資産	301,141	53,090
退職給付に係る資産	—	110,323
その他	931,052	1,029,497
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,232,642	3,351,087
固定資産合計	11,412,567	12,143,023
資産合計	23,784,607	26,753,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,015,921	1,076,573
電子記録債務	2,210,744	2,479,204
短期借入金	635,356	2,450,000
1年内償還予定の社債	110,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	221,845	71,912
未払金	541,403	769,487
未払法人税等	139,893	345,758
賞与引当金	615,066	622,245
役員賞与引当金	47,770	26,090
その他	841,141	745,453
流動負債合計	6,379,144	8,596,724
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	43,384	100,849
繰延税金負債	7,214	149
役員退職慰労引当金	21,871	21,131
退職給付に係る負債	266,655	—
その他	300,654	228,593
固定負債合計	659,779	360,724
負債合計	7,038,923	8,957,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	15,162,724	15,871,569
自己株式	△395,351	△395,383
株主資本合計	16,766,759	17,475,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,905	464,363
為替換算調整勘定	△127,438	△281,769
退職給付に係る調整累計額	△143,543	137,690
その他の包括利益累計額合計	△121,076	320,284
純資産合計	16,745,683	17,795,857
負債純資産合計	23,784,607	26,753,306

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,401,879	18,965,187
売上原価	17,517,038	15,553,138
売上総利益	3,884,840	3,412,049
販売費及び一般管理費		
保管費	96,583	95,055
運搬費	387,339	361,031
給料及び賞与	814,911	797,864
賞与引当金繰入額	104,364	111,223
役員賞与引当金繰入額	47,770	26,090
退職給付費用	20,119	30,505
減価償却費	45,283	48,410
貸倒引当金繰入額	814	177
のれん償却額	25,104	25,104
その他	1,085,900	918,938
販売費及び一般管理費合計	2,628,190	2,414,401
営業利益	1,256,650	997,647
営業外収益		
受取利息	82,515	43,322
受取配当金	31,461	21,628
為替差益	—	60,096
太陽光売電収入	12,888	12,286
補助金収入	23,026	227,670
その他	107,756	253,063
営業外収益合計	257,646	618,068
営業外費用		
支払利息	12,896	17,290
減価償却費	5,442	4,800
為替差損	93,352	—
その他	6,852	4,238
営業外費用合計	118,544	26,329
経常利益	1,395,752	1,589,386
特別利益		
固定資産売却益	794	1,279
貸倒引当金戻入額	3,353	—
特別利益合計	4,148	1,279
特別損失		
固定資産売却損	—	379
固定資産除却損	2,645	1,042
有価証券償還損	—	2,745
災害による損失	1,018	—
減損損失	58,567	—
特別損失合計	62,231	4,167
税金等調整前当期純利益	1,337,669	1,586,498
法人税、住民税及び事業税	461,798	505,599
過年度法人税等	—	66,743
法人税等調整額	28,934	39,454
法人税等合計	490,733	611,798
当期純利益	846,935	974,700
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	846,935	974,700

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	846,935	974,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128,079	214,457
為替換算調整勘定	1,095	△154,330
退職給付に係る調整額	△83,709	281,234
その他の包括利益合計	△210,693	341,360
包括利益	636,242	1,316,061
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	636,242	1,316,061
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,095,260	904,125	14,621,241	△182,663	16,437,964
当期変動額					
剰余金の配当			△281,395		△281,395
親会社株主に帰属する当期純利益			846,935		846,935
自己株式の取得				△212,688	△212,688
新規連結による変動額			△24,057		△24,057
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	541,482	△212,688	328,794
当期末残高	1,095,260	904,125	15,162,724	△395,351	16,766,759

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	377,984	△128,533	△59,833	189,616	16,627,581
当期変動額					
剰余金の配当					△281,395
親会社株主に帰属する当期純利益					846,935
自己株式の取得					△212,688
新規連結による変動額					△24,057
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△128,079	1,095	△83,709	△210,693	△210,693
当期変動額合計	△128,079	1,095	△83,709	△210,693	118,101
当期末残高	249,905	△127,438	△143,543	△21,076	16,745,683

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,095,260	904,125	15,162,724	△395,351	16,766,759
当期変動額					
剰余金の配当			△265,855		△265,855
親会社株主に帰属する当期純利益			974,700		974,700
自己株式の取得				△31	△31
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	708,845	△31	708,813
当期末残高	1,095,260	904,125	15,871,569	△395,383	17,475,572

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	249,905	△127,438	△143,543	△21,076	16,745,683
当期変動額					
剰余金の配当					△265,855
親会社株主に帰属する当期純利益					974,700
自己株式の取得					△31
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	214,457	△154,330	281,234	341,360	341,360
当期変動額合計	214,457	△154,330	281,234	341,360	1,050,174
当期末残高	464,363	△281,769	137,690	320,284	17,795,857

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,337,669	1,586,498
減価償却費	1,302,115	1,266,719
減損損失	58,567	—
のれん償却額	25,104	25,104
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△289	7,179
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,610	△21,680
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	567	△740
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	95,669	△266,655
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△110,323
受取利息及び受取配当金	△113,976	△64,951
支払利息	12,896	17,290
為替差損益 (△は益)	83,330	△59,500
補助金収入	△23,026	△227,670
固定資産除却損	2,645	1,042
固定資産売却損	—	379
固定資産売却益	△794	△1,279
有価証券償還損益 (△は益)	—	2,745
売上債権の増減額 (△は増加)	425,389	△200,112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△82,595	49,377
仕入債務の増減額 (△は減少)	△945,370	347,136
未払金の増減額 (△は減少)	26,647	220,389
未払又は未収消費税等の増減額	△94,650	92,037
その他	75,846	214,835
小計	2,193,356	2,877,824
利息及び配当金の受取額	114,432	68,381
利息の支払額	△7,057	△19,351
補助金の受取額	23,026	227,670
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△718,047	△374,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,605,709	2,780,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△413,505	△425,497
定期預金の払戻による収入	112,287	462,189
有価証券の取得による支出	△342,141	△1,934
有価証券の償還による収入	1,797,082	523,915
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△275,187	—
有形固定資産の取得による支出	△1,430,933	△2,060,986
有形固定資産の売却による収入	5,634	20,578
無形固定資産の取得による支出	△69,880	△140,063
投資有価証券の取得による支出	△227,932	△12,155
保険積立金の積立による支出	△48,338	△47,641
その他の支出	△19,503	△74,562
その他の収入	49,897	11,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△862,519	△1,744,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,814,643
長期借入れによる収入	—	160,000
長期借入金の返済による支出	△402,941	△236,757
短期社債の償還による支出	△10,000	△110,000
配当金の支払額	△281,395	△265,012
自己株式の取得による支出	△212,688	△31
リース債務の返済による支出	△68,748	△73,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△975,774	1,289,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,089	△27,066
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△258,673	2,297,269
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,312	4,741,639
現金及び現金同等物の期末残高	4,741,639	7,038,908

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品及び産業用機械部品等の製造販売を主な事業内容としており、これら取り扱う製品ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループが基礎とするセグメントは製品別で構成されており、販売金額の大半を占める「金属関連部品事業」「樹脂関連部品事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「企業集団の状況」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	18,571,059	1,886,856	20,457,915	943,963	21,401,879	—	21,401,879
セグメント 間の内 部売上高 又は振替 高	—	813	813	—	813	△813	—
計	18,571,059	1,887,669	20,458,728	943,963	21,402,692	△813	21,401,879
セグメント 利益	1,863,239	26,604	1,889,843	113,772	2,003,615	△746,965	1,256,650
セグメント 資産	16,863,402	1,661,662	18,525,064	1,027,338	19,552,402	4,232,204	23,784,607
その他の項 目							
減価償却 費	1,152,918	105,298	1,258,217	21,341	1,279,559	22,555	1,302,115
減損損失	2,000	56,566	58,567	—	58,567	—	58,567
有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額	1,703,309	735,466	2,438,775	17,290	2,456,065	33,589	2,489,655

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	16,701,040	1,444,254	18,145,294	819,893	18,965,187	—	18,965,187
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	6,817	6,817	—	6,817	△6,817	—
計	16,701,040	1,451,071	18,152,112	819,893	18,972,005	△6,817	18,965,187
セグメント 利益	1,651,381	△69,231	1,582,150	104,407	1,686,557	△688,910	997,647
セグメント 資産	20,575,632	1,494,767	22,070,400	811,268	22,881,669	3,871,637	26,753,306
その他の項 目							
減価償却 費	1,141,027	90,768	1,231,795	10,156	1,241,951	24,768	1,266,719
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額	1,880,650	97,086	1,977,736	2,783	1,980,519	26,846	2,007,366

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間の内部売上高又は振替高※1	△813	△6,817
全社費用※2	△746,152	△682,092
合計	△746,965	△688,910

※1 セグメント間の内部売上高又は振替高は、主にセグメント間取引消去であります。

※2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	4,232,204	3,871,637

※ 全社資産は主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、投資資金(有価証券及び投資有価証券)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産等であります。

(3) その他の項目

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費※1	22,555	24,768
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額※2	33,589	26,846

※1 減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※2 有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額は主に当社の管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	東南アジア	その他	合計
17,954,632	2,250,640	181,089	959,075	56,442	21,401,879

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	カナダ	中国	東南アジア	合計
5,354,214	1,001,641	195,414	301,269	1,045,389	7,897,930

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車株式会社	2,651,551	金属関連部品事業
本田技研工業株式会社	2,336,233	金属関連部品事業

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	東南アジア	その他	合計
16,411,475	1,741,159	121,598	625,173	65,780	18,965,187

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	カナダ	中国	東南アジア	合計
5,082,579	876,514	181,137	1,360,721	945,692	8,446,645

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車株式会社	2,698,751	金属関連部品事業
本田技研工業株式会社	2,313,776	金属関連部品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
当期償却額	—	25,104	25,104	—	25,104	—	25,104
当期末残高	—	100,418	100,418	—	100,418	—	100,418

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
当期償却額	—	25,104	25,104	—	25,104	—	25,104
当期末残高	—	75,314	75,314	—	75,314	—	75,314

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,771円47銭	2,945円29銭
1株当たり当期純利益金額	139円78銭	161円31銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	846,935	974,700
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	846,935	974,700
期中平均株式数(株)	6,058,690	6,042,155

(重要な後発事象)

該当事項はありません。